



学校だより

No.11 2月号

令和3年1月29日

横浜市立洋光台第四小学校

ホームページもご覧ください。 www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/yokodai4

「鬼は外～！ 福は内～！」

副校長 山口 高弘

年が明けてからも「新型コロナウイルス感染症」拡大が続いています。首都圏一都三県には再び緊急事態宣言が発出されました。その後、宣言発出の範囲が広がりましたが、感染拡大は下火になるどころか依然として予断を許さない状況が続いています。まだまだ、「感染症拡大防止」を行っていかねばならない状況です。今一度、「新型コロナウイルス感染症拡大」を防ぐために気持ちを新たに取組むことが大切となります。

感染症には、三つの顔があると言われます。一つ目の顔は「病気」そのものです。感染する可能性は誰にでもあります。また、感染させてしまう可能性もあります。

二つ目の顔として、「不安」があります。新型コロナウイルスのことはよく分かっていないので不安が生まれます。「不安」になるとウイルス感染に関わる人を遠ざけようとします。そして、そこで出てくるのが三つ目の顔である「差別」となります。噂に振り回されたり、病人を助けようと努力している医療従事者への差別になったりします。そして、差別されないために受診をためらい、さらに感染者を増やしていくことにつながっていきます。

病気が不安を呼び、不安が差別を生み、差別がさらなる病気を拡散させることとなります。「新型コロナウイルス感染症」の拡大終息や「通常の生活」を一日でも早く取り戻すためにも、我々一人ひとりが差別をしない気持ちや止める勇気を持ち、すぐ隣の人たちを尊重して関わっていくことが大切となります。

日本では、古来より人の心にある悪い気持ちや災害、災難などを「鬼」の仕業としていました。鬼は、丑寅の方角（鬼門）からこの世に出てきて、災害や災難を引き起こしたり、人の耳元で囁き、悪行をさせたりすると言われています。鬼に角があり虎の皮を身に着けているのは、鬼門の方角である丑寅が関係しています。昔は、方角を十二支で表していました。鬼門である丑寅の字は丑＝牛、寅＝虎を表します。そのため、鬼は牛の角を持ち、虎の皮を身に着けています。今年は36年ぶりに節分の日が変更となり、2月2日の火曜日となります。方角（恵方）は「南南東やや南」です。「新型コロナウイルス」を打ち払い、心の中に生じてくる不安や差別を消し去り、笑顔で過ごせる日を迎えるために大きな声で「鬼は外～！ 福は内～！」と豆まきをするのもいいかもしれません。

「感染拡大防止」そして「子どもたちのより良い成長」に向けて教職員一同協力して取り組んでいきます。保護者の皆様や地域の皆様のご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。

